

くすりのしおり

内服剤

2016年11月改訂

薬には効果（ベネフィット）だけでなく副作用（リスク）があります。副作用をなるべく抑え、効果を最大限に引き出すことが大切です。そのために、この薬を使用される患者さんの理解と協力が必要です。

商品名：ジアゼパム錠 5mg 「アメル」

主成分：ジアゼパム (Diazepam)

剤形：黄色の錠剤、直径約 7.0mm、厚さ約 1.95mm

シート記載：（表）ジアゼパム 5mg 「アメル」、ジアゼパム 「アメル」、KW232、《5》
（裏）Diazepam5mg 《AMEL》、ジアゼパム 「アメル」、KW232、5、リサイクルマーク、GS1 コード



この薬の作用と効果について

不安や緊張などをしずめたり、筋痙攣の症状を改善するベンゾジアゼピン系の薬です。

通常、不安・緊張・抑うつなどの治療、筋痙攣、麻酔の前などに用いられます。

次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。

- ・以前に薬を使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。緑内障、重症筋無力症、心臓疾患、肝障害、腎障害、脳に障害がある、衰弱している、呼吸器疾患
- ・妊娠または授乳中
- ・他に薬などを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたりする可能性もありますので、他に使用中の一般用医薬品や食品も含めて注意してください）。

用法・用量（この薬の使い方）

- ・あなたの用法・用量は（：医療担当者記入）
- ・通常、成人は1回主成分として2～5mgを1日2～4回服用します。ただし、外来受診の場合、1日最高量は3錠（15mg）です。小児は1日主成分として3歳以下では1～5mg、4～12歳では2～10mgをそれぞれ1～3回に分けて服用します。
筋痙攣：通常、成人は1回主成分として2～10mgを1日3～4回服用します。年齢・症状により適宜増減されます。
麻酔前投薬：通常、成人は1回1～2錠（主成分として5～10mg）を就寝前または手術前に服用します。年齢・症状により適宜増減されます。
本剤は1錠に主成分5mgを含む製剤です。いずれの場合も、必ず指示された服用方法に従ってください。
- ・飲み忘れた場合は、気がついた時に1回分を飲んでください。ただし、次の服用時間が4時間以内の場合は、飲まないでおき、次に飲む時間から飲んでください。絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ・誤って多く飲んだ場合は医師または薬剤師に相談してください。
- ・医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

生活上の注意

- ・眠気・注意力・集中力・反射運動能力などの低下が起こることがあるので、車の運転など危険をともなう機械の操作などは避けてください。
- ・飲酒により作用が強くなりあらわれることがありますので、服用中の飲酒はひかえてください。

この薬を使ったあと気をつけていただくこと（副作用）

主な副作用として、眠気、ふらつき、めまい、歩きにくい、頭痛、失禁、言語障害、ふるえ、頻脈、血圧低下、吐き気、吐く、食欲不振、便秘、口が渇く、発疹、倦怠感、脱力感、むくみ、黄疸などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

まれに下記のような症状があらわれ、[]内に示した副作用の初期症状である可能性があります。

このような場合には、使用をやめて、すぐに医師の診療を受けてください。

- ・けいれん・ふるえが起こる、不眠・不安になる、幻覚・妄想が起こる [大量連用による薬物依存・離脱症状]
- ・興奮する、錯乱する [刺激興奮・錯乱]
- ・息苦しい [呼吸抑制]

以上の副作用はすべてを記載したものではありません。上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。

保管方法 その他

- ・乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- ・薬が残った場合、保管しないで廃棄してください。

医療担当者記入欄

年 月 日

より詳細な情報を望まれる場合は、担当の医師または薬剤師におたずねください。また、医療専門家向けの「添付文書情報」が医薬品医療機器総合機構のホームページに掲載されています。